

令和7年度 遠野市立上郷小学校働き方改革アクションプラン

遠野市立上郷小学校では、「遠野市立学校教職員働き方改革プラン」に基づき、以下の取組により学校における働き方改革を推進します。

目指す姿

◎教職員が働き方の主体的選択をし、働きがいと働きやすさを両立できる職場に近づいている。

- ・管理職は、全教職員と時間外在校等時間の状況共有や要因把握に努め、改善に向けてマネジメントし、組織的に取り組んでいる。
- ・教職員一人ひとりが仕事へのやりがいを感じながら、ライフ・ワーク・バランスを確保している。
- ・教職員がコミュニケーションを大事にし、心身ともに支え合い、助け合う職場風土が醸成されている。

働き方改革の重点取組

取組① 時間外在校時間の削減・定時退庁の推進

- ・毎月の時間外在校勤務時間を全職員に知らせ、自身の働き方改善の意識を高める。
- ・前月の時間外在校時間の状況を共有し、職場全体の働き方改革への意識を高める。
- ・学期や月において多忙時期以外は早めの退勤を呼びかけ、勤務時間の平均化を図る。

取組② やりがいを感じる職場・支え合う職場づくりの推進

- ・教職員一人ひとりが強みを発揮し、互いのよさを認め合い、学び合えるような風土づくりに努める。
- ・教職員が今以上に声をかけ合い、支え合い、助け合う職場となるような風土づくりに努める。

取組③ 業務改善の推進

- ・校務支援ソフトを活用し、提出物や教育活動の進捗状況を確認し合い、計画的に進める。
- ・職員会議は資料の事前配布と焦点化に努める。
- ・学校評価アンケートや行事反省等において、DXを推進する。
- ・衛生委員会で業務改善について協議する。
- ・学期毎に「働き方改革アクションプラン」の見直しを図る。

	現状	具体的成果目標 (数値目標)	関係する 重点取組
目標①	・時間外在校等時間、年平均月 45 時間以上の教職員が 12 人中 3 人 (R5 は 2.75 人) 年 360 時間以上の教職員が 7 人 (R5 は 8 人) いる。	・時間外在校等時間、年平均月 45 時間以上の教職員を 12 人中 3 人未満、年 360 時間以上の教職員を <u>7 人未満</u> にする。	①、②、③
目標②	・小規模校のため教職員一人当たりの分掌の業務が多くなっている。	・「まなびフェスト」における職員自己評価の肯定的回答が 9 割以上になるようにする。	①、②、③
目標③	・時間外在校等時間が多い教職員が固定化している。	・教職員全員が月に 2 回以上 17 時 30 分までに退庁する。	①、②、③